

# 読書推進運動



公益社団法人  
読書推進運動協議会

〒101-0051  
東京都千代田区神田神保町1-32  
出版クラブビル6階  
TEL 03(5244)5270  
FAX 03(5244)5271  
発行人 小塚 昌弘  
編集人 片岡 伸子

No.620 ★公益社団法人 読書推進運動協議会 定時総会(1~4頁)

定価60円 会員の購読料は  
会費の中に含まれる

## 公益社団法人 読書推進運動協議会 2019年度 定時総会

### 創立60周年を迎え、 さらに読書の楽しさを伝えていく

6月19日(水)午後3時より、東京都千代田区の出版クラブビル会議室において、「公益社団法人 読書推進運動協議会 2019年度定時総会」が開催された。

野間省伸会長の挨拶のあと、定款第16条の規定により、野間会長が議長席につき、議事を進行した。総会には40名の会員が出席、委任状提出会員は150名、合計190名が出席した。定款第17条の規定による定足数、総会員の半数146名を超えたので、総会は成立した。

定款第20条の規定により、総会の議事録記名押印者として、野間会長、矢部敬一常務理事、設楽敬一常務理事の3名が指名された。

第一号議案は『2018年度事業報告書および決算報告書』承認の件。『2018年度事業報告書』については、齋藤健司事業委員長に代わり、宮本久事務局長から報告が行われた。つづいて『2018年度決算報告書』につ



開会の挨拶をする野間会長



神保町で初開催となった定時総会

いては、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録などについて、堀内丸恵財務委員長に代わり、宮本事務局長から説明が行われた。

その後、監事を代表して竹村和子監事が、本決算は公正かつ正確であることを認証するとの監事報告を行った。議長は出席会員に諮り、それぞれ全員異議なく承認可決された。

第二号議案は『役員改選』承認の件。読書推進運動協議会の役員は任期は2年であり、本年は改選期に当たる。役員改選については、構成団体から候補者の推薦を受け、17名の役員候補者名簿が議長より提示された。役員17名中、新任は秋本敏、近藤敏貴、千石雅仁の3名、退任は酒川玲子、佐々木秀樹、藤井武彦の3名で、ほかは再任。定款第22条の規定に

従い、議長は以上の推薦について出席会員に諮り、全員異議なく原案通り承認可決された。

第三号議案は『2019年度事業計画書および収支予算書』承認の件。『2019年度事業計画書』と『2019年度収支予算書』については、宮本事務局長から説明があり、いずれも、2018年度第2回理事会で承認されたことが報告された。議長は出席会員に諮り、全員異議なく了承された。

野間議長による閉会の挨拶で総会は閉会したが、閉会后、別室にて2019年度第2回理事会が開催され、定款第32条により新役員の役職が選定された。理事会終了後に総会会場で、新任の役員と新たな役割分担が議長より報告され、すべての議事を終了した。また、この定時総会をもって、読書推進運動協議会の事務局長が宮本久から小塚昌弘に交代することが報告された。



監事を代表して報告する竹村監事

## ■挨拶

公益社団法人  
読書推進運動協議会

会長 野間 省伸



本日はお忙しいなか、公益社団法人 読書推進運動協議会、2019年度定時総会にご出席いただき、ありがとうございます。

本年は読書推進運動協議会の創立60周年を迎える記念すべき年です。2018年は5年に一度行われる読書グループ調査の実施年でありました。本年はその成果を「2018年度読書グループ総覧」としてまとめますが、これに大学の司書課程や図書館サービス論などの研究者の考察を加え、また60年のあゆみをたどる年表を掲載するなど、『読書推進運動協議会創立60周年記念号』として刊行いたします。

します。現在9月の刊行をめざし準備中です。

今年も4月23日から5月12日にかけて行われた「こどもの読書週間」では、ご好評をいただいている絵本作家・荒井良二さんのイラストによるポスターを製作。全国の図書館・書店・学校に送付し、子どもの読書推進をアピールしました。

また、読書推進運動協議会に事務局を置く「子どもの読書推進会議」が、主催団体のひとつとして参加しております。「上野の森親子ブックフェスタ2019」が、5月3日から5月5日の3日間開催されました。10連休と好天にも恵まれて、読者であるお子さん・親御さんが多く訪れてくださいました。

出版界・読書界は、10月に予定されている消費税率のアップへの対応や流通問題への対処など、数々の課題をかかえておりますが、それらの課題を解決していくためにも、関連団体の連携はかかせません。

本を読むことの楽しみを伝えるため、読書推進運動協議会もますますその活動を充実させてまいります。今後ともみなさまのご支援とご協力をお願いしまして、ご挨拶いたします。

## ■2019年度 事業方針

『全国読書グループ総覧』を  
60周年記念号として刊行

読書推進運動協議会の中心的な事業である「こどもの読書週間」が2018年に第60回の周年を刻みました。今後とも、この記念事業の検証をふまえ、いままで積み重ねてきた読書推進の諸活動とあわせて、例年以上に読書推進活動が活発になるべく努力してまいります。

推進運動協議会創立60周年記念号』とします。それぞれの事業の計画的予算措置を行い、内容を充実させていきます。

ふたつの読書週間の標語は、会員社のみならず、全国の図書館、そしてホームページで一般の方々にも呼びかけて募集しています。とくに販売会社や出版社には事業委員として深く関わっていただき、それぞれの社員の方々からたくさん応募をいただいています。こうした作業を進めるなかで、事業の認知度を高めていくようにいたします。2019年の春の「こどもの読書週間」の標語は「ドは読書のド」に、秋の「読書週間」の標語は「おかえり、栗の場所です」に決定しました。

2018年度「全国読書グループ総覧」の刊行も控えています。この『2018年度 全国読書グループ総覧』に、大学の司書課程や図書館サービス論などの専門の研究者と協力した研究を追補、ほかにも「読書推進運動協議会の60年」と題して原稿をいただき、『読書

「読書週間」は、ポスターのイラストも一般から公募しており、2016年からは標語にあわせたイラストを公募し、標語と親和性の高い力作が多く寄せられ、ポスターも好評を得ています。「こどもの読書週間」のポスターにつきましては、2014年より絵本作家・荒井良二さんにイラストを、グラフィックデザイナー・杉浦康平さんにデザインをお願いしております。

読書週間事業の一環として行われている、全国の読書推進運動協議会の推薦のもとに選ばれる「全国優良読書グループ表彰」と、永年にわたって読書の普及に貢献された団体と個人を表彰する「野間読書推進賞」の顕彰事業は、関係団体や各道府県の読書推進運動協議会との緊密な協力関係のもとに推進しています。近年は、高齢者や障がいを持つ方々に対する地道な読書支援活動を行ってきた団体の推薦・受賞が増えています。読書会、子どもの読書推進グループの活動にも、ネットワークの構築や活動の後継者づくりなど、新しい動きが見られます。



「2019 こどもの読書週間」時にホームページに掲載したブックカバーなど

# 2019年度役員構成

順不同・敬称略

会 長	野間 省伸	日本書籍出版協会 (講談社社長)
副 会 長	近藤 敏貴	日本出版取次協会 (トーハン社長)
同	森 茜	日本図書館協会 (同前理事長)
常務理事 (財務委員長)	堀内 丸恵	日本雑誌協会 (集英社社長)
同	齋藤 健司	日本書籍出版協会 (金の星社社長)
同 (事業委員長)	矢部 敬一	日本書籍出版協会 (創元社社長)
同	船坂 良雄	日本書店商業組合連合会 (大盛堂書店社長)
同	設楽 敬一	全国学校図書館協議会 (同理事長)
同	平林 彰	日本出版取次協会 (日本出版販売社長)
理 事	秋本 敏	日本図書館協会 (同図書館紹介事業委員会委員長)
同	持谷 壽夫	日本書籍出版協会 (みすず書房監査役)
同	千石 雅仁	教科書協会 (東京書籍社長)
同	山縣裕一郎	日本雑誌協会 (東洋経済新報社会長)
同	渡部 正嗣	日本出版取次協会 (日教販社長)
監 事	西村 俊男	日本書店商業組合連合会 (文信堂書店会長)
同	竹村 和子	全国学校図書館協議会 (同常務理事・事務局長)
同	佐藤 潤一	日本書籍出版協会 (福音館書店社長)

事務局長 小塚昌弘

全国の読書推進運動協議会から寄せられた推薦図書をもとに作成する、約21万部の「若い人に贈る読書のすすめ」と、約14万部の「敬老の日読書のすすめ」のリーフレットは、今年度も関係の団体を通じてお配りしていきます。学校や図書館からの問い合わせが多いのは、積極的に活用されている表れだと思います。

好評をいただいております。さらに魅力ある素材の提供に取り組んでいきます。

2013年12月から行っている「大震災出版復興基金」の口座管理については、基金への募集は終了しましたが、口座自体は閉じていないため、ひきつづき進めてまいります。

「出版物に軽減税率適用を求める専門委員会」の事務局の一員として、出版物への軽減税率適用を求めてまいりました。草の根の国民運動として出版物に軽減税率適用を求める運動を強くアピールすべくスタートした「本が好き」運動には、歴代の野間読書推進賞受賞者の方々に多くの協力をいただきました。

また、2018年12月に発表された与税制改正大綱には、出版物に対する軽減税率適用については引き続き検討するとあり、2019年10月の消費税10%増税時点での軽減税率適用は難しくなりました。しかしながら委員会としては今後も、出版文化維持のため、粘り強く活動に取り組んでいきたいと考えています。

現在40道府県にそれぞれの読書推進運動協議会があり、読書推進運動協議会のさまざまな事業を行っていくにあたり、連携を強め、多大な協力をいただいています。しかし、読書推進運動協議会のない都府県が、7つあります。こうした都府県にあらためて働きかけ、事業の活性化をはかっていきます。

2019年度 会員社の異動

退会会員社  
 ○特別会員  
 株式会社 実業之日本社  
 株式会社 バストセラーズ  
 ○一般会員  
 株式会社 精興社  
 株式会社 女性モード社  
 株式会社 求龍堂  
 日本雑誌販売 株式会社  
 会員社数 291

(2019年6月19日現在)

贈りものに。お礼、お返しに。

東山魁夷シリーズ

図書カード NEXT



1,000円「夏に入る」



3,000円「緑溪」



5,000円「秋聲」



10,000円「白馬の森」

◆これまでの図書券・磁気式の図書カードも引き続きご利用になれます。

日本図書普及株式会社



公益社団法人 読書推進運動協議会 2019年度事業		
名称	期間	内容
2019 第73回 読書週間	10月27日 ～ 11月9日 (14日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標語とイラストを募集、標語選定事業委員会とイラスト選定事業委員会にて決定し、ポスター6万5000枚を製作</li> <li>・雑誌広告を作成。雑誌協会を通じ、雑誌出版社に掲載協力を要請</li> <li>・道府県読書推進運動協議会、全国の公共図書館、小・中・高の学校図書館、書店、会員社、マスコミなどへポスターを送付。掲出を要請</li> <li>・「文字・活字文化の日(10月27日)」と連携</li> <li>・全国優良読書グループ表彰の実施</li> <li>・道府県読書推進運動協議会へ行事補助金贈呈。行事報告を要請し、機関紙別冊に掲載</li> </ul>
2019 第61回 こどもの読書週間	4月23日 ～ 5月12日 (20日間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標語を募集、標語選定事業委員会にて決定。ポスター6万枚を製作</li> <li>・道府県読書推進運動協議会、全国の公共図書館、小・中・高の学校図書館、書店、会員社、マスコミなどへポスターを送付。掲出を要請</li> <li>・「子ども読書の日(4月23日)」と連携</li> <li>・道府県読書推進運動協議会へ行事補助金贈呈。行事報告を要請し、機関紙別冊に掲載</li> </ul>
第49回 野間読書推進賞	贈呈式は 11月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書推進運動に功績があった団体および個人を顕彰(2団体2個人が基本)</li> <li>・贈呈式は「読書週間」期間中に開催</li> </ul>
2019 敬老の日読書のすすめ	敬老の日を 中心に	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を対象とした選定図書リーフレット14万3000部を製作</li> <li>・道府県読書推進運動協議会、全国の公共図書館、書店、会員社などへ送付</li> </ul>
2020 若い人に贈る 読書のすすめ	1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新成人、高校・大学の卒業生を対象とした選定図書リーフレット21万部を製作</li> <li>・道府県読書推進運動協議会、全国の公共図書館、高校・大学の図書館、書店、会員社などへ送付</li> </ul>
『2018年度 全国読書グループ総覧』	9月 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年に一度、全国の公共図書館および類縁機関を対象に行う読書グループの活動状況の調査報告</li> <li>・全国公共図書館協議会の協力のもと、2018年9月に都道府県立図書館・道府県読書推進運動協議会を通じて調査票を配布、11月に回答受け取り</li> <li>・回答を集計し、その結果を『2018全国読書グループ総覧』として2019年に刊行。全国の公共図書館および類縁機関、会員、関係者などに配布する。</li> </ul>
機関紙 『読書推進運動』	毎月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・機関紙『読書推進運動』を毎月発行するほか、別冊付録を年2回発行</li> <li>・発行部数 約5500部</li> <li>・道府県読書推進運動協議会、会員社、全国の公共図書館、関係団体などに送付</li> </ul>
公式ホームページ	毎月2回更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体事業の発信</li> <li>・図書館、学校、書店の展示用に、新規素材のデータ配信を行う</li> </ul>
受託、共催、後援、協賛		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもの読書推進会議」の事務局を担当</li> <li>・「伊藤忠記念財団」の子ども文庫助成事業の受託</li> <li>・文部科学省より「子ども読書の日」のポスター制作を受託</li> <li>・関連団体と読書推進事業を後援、協賛、協力</li> </ul>
大震災出版復興基金	4月～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「〈大震災〉出版対策本部」の事務局に参加</li> <li>・「大震災出版復興基金」の口座管理</li> <li>・震災遺児たちへの図書カードプレゼント</li> </ul>

■地区学校図書館研究大会 開催予定

各地区ならではの研究テーマで  
実践と研究を深めよう

各地域の学校図書館協議会と開催地の教育委員会などが主催し、隔年で開催される、「地区学校図書館研究大会」の今年度開催地と大会要項が発表された。

各大会は2日間の日程で、研究主題のもとに全体会と分科会にわかかれて行われる。識者による記念講演や、参加者交流会などもあり、対象地域から集まった参加者たちが熱心に研究を進める。

《今年度の開催地と日程》

- ・北海道学校図書館研究大会  
10月4日(金)・5日(土)  
旭川勤労福祉会館・上川教育研修センター(北海道旭川市)
- ・東北地区学校図書館研究大会  
11月7日(木)・8日(金)  
酒田市民会館「希望ホール」(山形県酒田市)
- ・関東地区学校図書館研究大会  
8月8日(木)・9日(金)  
千葉工業大学 津田沼キャンパス(千葉県習志野市)
- ・北信越地区学校図書館研究大会  
9月26日(木)・27日(金)  
りゅうとびあ新潟市民芸術文化会

- 館(新潟県新潟市)
- ・東海地区学校図書館研究大会  
8月8日(木)・9日(金)  
三重県総合文化センター(三重県津市)
- ・近畿学校図書館研究大会  
8月8日(木)・9日(金)  
帝塚山大学 奈良・学園前キャンパス(奈良県奈良市)
- ・中国地区学校図書館研究大会  
11月7日(木)・8日(金)  
山口県健康づくりセンター(山口県山口市)
- ・四国地区学校図書館研究大会  
10月31日(木)・11月1日(金)  
ハイスタッフホール(観音寺市民会館)(香川県観音寺市・三豊市)
- ・九州地区学校図書館研究大会  
7月30日(火)・31日(水)  
諫早文化会館(長崎県諫早市)

各大会の開催要項や参加方法など最新情報は、全国学校図書館協議会のホームページで確認できる。

●全国学校図書館協議会ホームページ  
<http://www.jsla.or.jp/>

■第53回 造本装幀コンクール 各賞決定

紙の本の美しさ、可能性に満ちた  
21点が受賞!

出版・印刷・製本・装幀・デザインなど、造本装幀に関わる人々の成果を総合的に評価し顕彰する「第53回 造本装幀コンクール」(主催：日本書籍出版協会/日本印刷産業連合会)。その審査会が5月29日(水)、東京都中央区の日本印刷会館で開催された。

今回は2018年発行の書籍が対象で、143者288点の応募作品の中から、21点の受賞作を決定した。審査会は、まず主催2団体と後援団体の審査員が各団体賞15作品を選出。「読書推進運動協議会賞」は「山梨ワイン探索 23組の生産



今年の三賞。左より経済産業大臣賞、東京都知事賞、文部科学大臣賞

者を訪ねて」(美術出版社)装幀者||中川寛博に決定した。

続いての文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、東京都知事賞、審査員奨励賞を選考する三賞選考会は、柏木博さん(学識経験者)||

審査員長、浜田桂子さん(絵本作家)、秋山伸さん(装幀家・デザイナー)、濱崎実幸さん(同)、中江有里さん(女優・作家)||読者代表の5名と、印刷・製本の専門家2名で行われた。

白熱した真摯な議論の結果、文部科学大臣賞は「僕らのネクロマンス」(NUMABOOKS)装幀者||藤田裕美、経済産業大臣賞は『ちのかたち 建築的思考のプロトタイプとその応用』(TOTTO出版文化推進グループTOTTO出版)装幀者||刈谷悠三、田角奈央

／neuchora「日本書籍出版協会理事長賞とダブル受賞」、東京都知事賞は『Close Your Ears』(えほんやるすはんはんするかいしゃ)装幀者||サイトヲヒデユキに決定した。なお各作品の講評は公式冊子に掲載される。

公式冊子に掲載される。



審査会会場にはすべての応募作が並べられる

入賞作品を含む全応募作品は、10月25日(土)27日(月)に東京都・神田神保町で開催される神保町ブックフェスティバル期間中、東京堂ホールで無料公開展示される。

入賞作品は11月下旬から印刷博物館で、今年の「世界で最も美しい本コンクール」入賞作品と併せて展示。その後、来年2月にドイツ・ライピッツヒェで開催される「世界で最も美しい本コンクール」に出品され、来年10月のフランクフルト・ブックフェアでも展示予定。

●公式冊子の詳細問い合わせ先  
日本書籍出版協会(主催)  
Tel 03-6273-7061  
<http://www.jbpa.or.jp>  
出版文化産業振興財団(事務局)  
Tel 03-5211-7282  
<http://www.jpbc.or.jp>

### 優良読書グループの歩み (7)

2018年度の「読書週間」に際して道府県読書推進運動協議会より推薦され、本会において表彰した全国の優良読書グループの活動報告を掲載いたします。

(順不同)

#### 八戸子どもの本の会

代表者 山田 剛也

青森県八戸市

〈推薦〉  
青森県読書推進運動協議会

八戸子どもの本の会は1977年誕生、今年で41年になりました。はじめたきっかけは、わが家で4人の子どもたちへの読み聞かせでした。毎晩親子で『おいしいのぼうけん』や『冒険者たち』を楽しみましたが、私自身が子どものおもしろさのとりこになつてしまい、図書館からつぎつぎと借りて、子どもたちに読みました。そして、本の読み聞かせ、紙芝居、親子読書、児童書の研究などをしたいと思ひ、八戸市立図書館の児童書担当職員との協力を得ながら、「八戸子どもの本の会」を立ちあげました。それから41年、代表を務めてきました。

設立当初は、親子読書会や座談

会なども行っていました。現在は、八戸市立図書館や市内の保育園などでの絵本の読み聞かせと紙芝居、八戸市のブックスタートへの協力がおもな活動です。途絶えてしまった親子読書会ですが、会員だった方からいまでも年賀状が届き、楽しい思い出です。

八戸市立図書館は1984年に、移転新築しましたが、その際、建設委員のひとりとして「ぜひ、独立したおはなしの部屋を作つて



子どもの本の楽しさをみんなに届ける

ほしい」とお願いし、実現しました。その部屋で開館から現在まで、毎週土曜日に会員による、読み聞かせと紙芝居が続いています。定期的な例会の代わりに、月1回の八戸市立図書館主宰の「子どもの本研究会」に参加し、研鑽を重ねています。

会則も会費もない自由な雰囲気と、会員の「子どもたちに絵本を楽しんでほしい」という熱い思いに支えられ、41年という長い間、活動を続けてきました。これまで活動に携わつてくださった元・現会員のみなさまに感謝します。

最後に、個人的なことですが、私にとって本はともありますが、楽しいものです。その楽しさを子どもたちにも味わつてほしいと願ひながら、これからも八戸子どもの本の会を続けていきたいと思つています。

#### おはなしの会 ピノキオ

代表者 吉場 芳江  
栃木県下都賀郡野木町

〈推薦〉  
読書推進運動協議会

1996年12月3日、町立図書館のボランティア募集に応じ、お

はなしの会ピノキオとして発足。当初は町立図書館で月1回の読み聞かせでしたが、徐々に回数が増え、2001年4月からは第1火曜日を定例会とし、第2週目以降3回、読み聞かせを行っています。その後、1997年度より町内小学校で読み聞かせをはじめ、2000年度にはもう1校増え、現在は2校で、年間各4〜5回の絵本および紙芝居の読み聞かせを行っています。

2002年から偶数月の第3土曜日に、幼稚園から小学生のためのおはなし会を開催。その他、野木町子ども会連合会主催の「町つ子フェスティバル」では2004年の第1回目より、絵本の読み聞かせ、紙芝居などを行っています。毎年200人前後の子どもが集まり、参加者みんなで楽しい時間を過ごしています。その後、2011年度から図書館主催の「おはなしマラソン」、そして、2015年度より「図書館まつり」に参加。

私たちは、絵本と子どもたちが大好きです。子どもたちに絵本の楽しさを伝え、絵本を通して心豊かに育つよう、お手伝いをしたいと考えています。

毎月第1火曜日に定例会を開き、活動方針や当番を決めて、前



小さい子どもへのおはなし会では手遊びや指人形も

月のおはなし会の実施状況や反省、絵本や読み聞かせについての勉強会などを行っています。その他、子どもの読書活動に関する講習会に参加し、資質の向上に努めています。会員を増やすため、毎年、町の広報にピノキオのおはなし会の日程とともに、会員募集のお知らせを載せていただいています。が、なかなかむずかしい状況です。

近年、保育園や児童館などで、子育て支援が充実しつつあります。少子化の影響や、女性の社会進出も増え、発足当初に比べるとおはなし会に来てくださる人数が減つてきていますが、ひとりでも参加してくださる方がいるかぎ



り、会員一同、がんばって続けていきたいと思います。

### 親子の本の広場 あいく館

代表者 杉嶋 壽子  
広島県大竹市

〈推薦〉  
広島県読書推進運動協議会

この活動の根っこは、1970年に大竹で子どもたちの願いに押し、杉嶋壽子が「杉の子文庫をはじめたこと」にあります。その後、子ども読書への関心が高まり、読書会、講演会が開かれ、文庫が生まれました。その仲間とともに1980年に「図書館設置」の陳情をし、9年後に、大竹市立図書館が開館しました。一方、1985年には7つの文庫で「大竹市子どもの読書連絡会」が発足しました。図書館開館と同時に杉嶋は文庫を閉じ、17年間、大竹を離れました。戻ったとき、思いがけず、文庫十子育て支援施設の「親子の本の広場 あいく館」をはじめめることになり、続いていた連絡会のメンバーも加わり、新たな出発をしました。

あいく館は閉園した幼稚園の一部を無償で借り受け、絵本・児童書1500冊と遊具を備えて、2006年にはじまりました。

資金は「杉の子あいく館を支援する会」を中心とする、市民のみなさんの支援によりまゝです。参加無料で、対象は赤ちゃん・幼児とその保護者、小学生です。スタッフはボランティアの無償の働きです。子どもたちと保護者の笑顔と絵本の楽しさに押されて、励んでいます。

活動は毎週土曜日の開館と行事です。開館日は午前・午後各1回のおはなし会（手遊び、読み語り、紙芝居）と本の紹介と貸出をします。貸出は楽しいよい絵本がたくさんある」と、喜ばれています。お部屋では遊具、お絵かき、折り紙、工作など自由に楽しめます。保護者同士、子ども同士、スタッフとの交流が楽しそうです。お父さんの参加もあり、行事で市の男女共同参画に協力することもあります。

行事は年一回の絵本まつり（講師による講演、人形劇）、クリスマス会（人形劇）、このほかに季節の行事（節分、ひな祭り、七夕、夏野菜の収穫、お芋掘りなど）。このときはスタッフみんなで力をあわせて行います。人形劇も10年間スタッフが上演しましたが、昨年より人形劇団にお願いしています。いま、スタッフの高齢化に悩

んでいるところです。

しかし保護者には、「絵本は子どもの成長の根っこ」で、たいせつですよ」と、つねに語りかけています。これが私たちの活動の原点です！

### 鹿屋小学校読み聞かせグループ「すてつぷ」

代表者 四郎園佳恵  
鹿児島県鹿屋市

〈推薦〉  
鹿児島県読書推進運動協議会

2003年。当時の校長先生の呼びかけに、数人の保護者が賛同したのが「すてつぷ」誕生のきっかけです。現在、鹿屋小学校PTAのボランティア部として13人の母親で活動しています。

私たちの活動は、朝読み、昼読み、11月のおはなし会の3つに大別することができます。

朝読みは、各教室で行う読み聞かせの時間で、子どもたちの反応を想像しながら、絵本や紙芝居を選ぶ作業も楽しい時間。どの学年も心を落ち着かせ、じっくりとおはなしの世界を満喫しています。週1回の活動です。

昼読みは、おはなしを聞きたい児童が自由に参加することができます。

る時間です。毎回教室いっぱい児童が集まり、笑顔があふれるにぎやかな時間を楽しんでいます。大型絵本やパネルシアター、手遊びなどを準備し、月1回開催しています。

11月のおはなし会は、メンバーの力を結集させるときでもありますが、毎年、「地域が育む『かごしまの教育』県民週間にあわせて、人形劇やペープサートなど大がかりなものを3作品ほど準備します。そして、学年ごとにこれを演じます。仕事や子育てのかたわら、2か月ほどの時間を費やし、子どもたちの喜ぶ姿を想像しながら、制作や練習に取り組んでいます。



子どもたちの反応も楽しい読み聞かせの時間

じ手の私たちと鑑賞する子どもたちがともに作りあげる雰囲気です。作品は全学年同じですが、学年ごとに反応が少しずつ違い、演じ手の気持ちもそれに応じて変化します。もちろん、作品を忠実に再現することには気をつけています。しかし、テレビや映画のように、なんと見ても同じ、ということはありません。「いつも朝読みや昼読みに来てくれる、あのお母さんだ」という安心感、「あんなに小さかったあの子どもたちが……」という、子どもたちの成長を見守ってきた私たちの愛。それらが作品に華をそえているかのようです。「すてつぷ」がここまで成長してきたのは、活動を紡いできた先輩方の情熱と、PTAや先生方の理解があつてこそ。今後も、「1年生が卒業するまでは続ける」という思いをつないでいき、ひとつでも多くの作品を、子どもたちに届けていきたいと思います。

### 『読書推進運動』621号の お届け時期について

2019年8月15日に発行する『読書推進運動』621号は、配達業者の夏期休業により、8月19日以降のお届けとなります。ご了承ください。

# 2018年度 全国読書グループ調査 読書グループ 発足年代の集計結果

全国公共図書館協議会の全面的な協力をいただき、昨年11月に全国の図書館・関係機関よりご回答をいただいた『2018年度全国読書グループ調査』は、現在、発足年代や活動内容などの二次集計を進めています。

先日、読書グループの発足年代のデータがまとまりました(以下、数値はすべて速報値。最終的に変わる可能性があります)。

総回答グループ1万2341のうち、発足年代の回答があったグループは1万1031(前回(2013年度)より520増)です。うち、子どもの本を対象としたグループは8938(前回より562増)、一般の本を対象としたグループは3407(前回より246増)となっています。

子どもの本を対象としたグループは、2000年以降に誕生したグループが全体の6割近くを占めており、2000年「子ども読書年」をきっかけに、子どもの読書推進への関心が全国的に高まったことを裏づけています。

各活動内容別・活動場所別に集計したグループ発足年代の結果に考察を加えたものは、7月下旬、読書推進運動協議会のホームページに掲載の予定です。

## 2018年度全国読書グループ調査 読書グループの発足年代

総数	～1959	1960～1969	1970～1979	1980～1989	1990～1999	2000～2009	2010～2018
全体 11031	50(0.5%)	132(1.2%)	735(6.7%)	1607(14.6%)	2376(21.5%)	4221(38.3%)	1910(17.3%)
子ども 8938	14(0.2%)	48(0.5%)	399(4.5%)	1127(12.6%)	1999(22.4%)	3770(42.2%)	1581(17.7%)
一般 3407	42(1.2%)	98(2.9%)	433(12.7%)	686(20.1%)	687(20.2%)	920(27.0%)	541(15.9%)

小数点以下2桁を四捨五入。  
子ども=子どもの本を対象とするグループ。一般=一般の本を対象とするグループ。  
対象とする本の種類は複数回答のため、子ども・一般のグループ数の合計と全体の数字は一致しない。

### 事務局報告(6月)

- ・6日 全国学校図書館協議会 学校図書賞・学校図書館出版賞 表彰式 出席
- ☆10日 機関紙「読書推進運動」619号入稿
- ☆11日 機関紙「読書推進運動」619号責了
- ・11日 子どもの読書推進会議、幹事会を開催
- ☆14日 機関紙「読書推進運動協議会」619号発行
- ☆14日 『2018年度 全国読書グループ総覧』総覧部原稿入稿開始
- ☆14日 第73回 読書週間 ポスターイラスト選定事業委員会案内を送付
- ・14日 文部科学省と来年度「子ども読書の日ポスター」について意見交換
- ・16日 国立国会図書館国際子ども図書館講演会「いま、イランの子どもの本は？」出席
- ・18日 子どもの読書推進会議 第1回総会案内を送付
- ☆19日 『2019年度 定時総会』開催。出席40名、委任状出席150名、2018年度事業報告書および決算報告書、役員改選を承認
- ☆19日 『2019年度 第2回理事会』開催
- ☆20日 長坂隆太郎事務所へ登記依頼打ちあわせ
- ・21日 伊藤忠記念財団「子ども文庫助成事業」応募締め切り
- ☆24日 『2019年度 第2回常務理事会案内』を送付
- ☆25日 『敬老の日読書のすすめ』書目選定事業委員会を開催
- ☆25日 『2019年度 読書週間ポスターイラスト募集』締め切り。応募総数448件
- ・27日 『上野の森親子ブックフェスタ2019』運営委員会出席
- ・28日 伊藤忠記念財団と「子ども文庫助成事業」について打ちあわせ

### 編集部 & 事務局の ひとこと

- 「全国読書グループ調査」のまとめと、「全国読書グループ総覧」の刊行準備は、ゆっくりではあります。着実に進んでいます。「総覧」の中心部である、全国の読書グループのリスト(掲載許可をいただいたグループのみ)は、先月より紙面組を開始。印刷所から週に1回のペースで、ゲラが届きます。
- 「グループ調査」の調査票の整理集計、「グループ総覧」の原稿作りと紙面デザインは現在、すべて事務局で行っています。私はもちろんですが、ふだんは経理・総務を担当している清水奈緒美、「読書週間」行事報告が終わったばかりの兼近京子と、スタッフ総出です。本文でご紹介したグループの発足年代別のデータ集計、現在取りかかっている活動内容の重なり集計と、細かい作業がまだまだ続きます。
- 集計作業を事務局で行ったのは、前回の2013年度調査がはじめてです。調査票を整理して、「活動内容や活動場所、発足年代などを重ねあわせたデータをとると、おもしろいだろうな」というやりかた(？)思いつきました。と運の尽き。ずぶずぶと集計の沼にはまりました。5年たった今回も、スタッフを遣つれに、沼でデータをすくっています。
- すくいあげた集計結果は、そのつど「読書推進運動」紙面と当協議会ホームページでご紹介していきます。ご協力いただいた図書館・関係機関のみならず、「グループ総覧」の刊行まで、いましばらく(しばらくではない?)お待ちください。(伸)